



歴史研究所第3期中期計画がスタートします

「リニア2027年開通」が現実化する中で、これからの飯田・下伊那は今までにない規模での変貌が想定されます。一方で、山里部分のみならず中心市街地でも進行する過疎化、高齢化の中で、豊かでかけがえのない歴史や文化を刻んできた多くの集落や地区が、その存立基盤を根底から脅かされています。こうした中で、歴史研究所は「市民文化の向上発展と活力ある地域社会の創造とその持続に寄与する」ための活動を更に進めていく必要があると考え、平成25年度から29年度に至る第3期中期計画を策定しました。

これまでの成果や課題をふまえた3つの重点目標を設定し、諸活動に取り組みます。



飯田市地域史研究会

1. 「地域遺産」の再発見

地域の歴史や文化からなる資源遺産を再発見し、地域の宝物として大切に守り、これに学び、活用する方向を推進し、地域への愛着と、地域の魅力づくりに結びつけていきます。

2. 「地域市民」との連携強化

地域市民による史料調査や地域の学習・研究活動と協働し「地育力」を高める活動を推進します。

3. 地域アーカイブズ事業の充実

地域遺産の中核の位置を占める地域アーカイブズ(歴史資料)を調査・収集・整理・保存・公開し、飯田の魅力のひとつとして大切に守っていきます。

史料調査活動

地域遺産の再発見に向けた活動に重点的に取り組みます。

- 1 歴史資料について、地域や関係機関と連携した拠点型の現状記録調査を実施
↓
基礎共同研究
↓
調査結果の報告書等による公表、還元を図ります。
- 2 歴史的建造物や歴史的町並みについて、地域遺産として悉皆調査を継続します。
↓
維持・保存・活用へ協力をを行います。
- 3 市役所非現用文書を含む地域アーカイブズ事業と連携して進めます。

研究活動

調査の目的と研究の継続性を重視し、成果を多様な形で還元します。

- 基礎研究
 - 基礎共同研究
 - ・基盤調査
「近世・近現代史料の所在状況に関する悉皆的調査」「拠点型現状記録調査および採集調査」「聞き取りによる史料調査」など
 - ・課題研究
 - ・単位地域プロジェクト
- 1 地域史研究会の開催
関係機関と連携しながら、市民要望に応えるよう努めます。
 - 2 定例研究会など
研究の促進と研究成果の報告、研究交流の場として随時公開で開催します。
 - 3 『年報』の刊行により研究成果を発表します。

学習協働活動

地域市民の学びの機会を提供します。

- 1 学びの協働
 - ・地域からの要望に応え、史料調査や古文書解読、研究などを協働して行います。
 - ・各地区公民館や高校、小中学校などへ出前講義・出前授業を行い、ふるさとを大切にすることを育てていきます。
- 2 様々な学びの機会の提供と受講しやすい環境整備
 - ①ゼミナール
学習の場として引き続き開設します。「近世史」「近現代史」「古代史」「思想史」など
 - ②飯田アカデミア
参加しやすい企画・運営を行います。
 - ③地域史講座ほか
地域に密接した歴史のテーマにより、公民館や学校などと連携して実施します。

市誌編さんと出版事業

調査・研究の集約の場とし、事業を通じて地域を知り、地域を思う心を醸成します。

- 1 史料叢書
 - ①基礎史料
「勤向書上帳」「飯田町絵図」など
 - ②地域史料
地域遺産の再発見を目的とした史料集
- 2 地域史叙述
 - ・全体史
 - ・テーマ史
主要なテーマを取り上げ、親しみやすく叙述
 - ・概説書
研究学習概要や副読本となる飯田市一帯の概説書など
- 3 刊行支援
研究調査を行う団体などに対し、史料編さんや出版活動への協力をおこないます。

飯田市歴史研究所 平成25年度事業概要

1. 市誌編さん事業

歴史研究所の調査研究活動の成果を集約公開し、この地域の歴史と文化を身近に感じられる取り組みを行います。

24年度に刊行した、旧飯田町・上飯田町地域の全体史叙述編『飯田・上飯田の歴史』の副読本として、幕末から明治初期の上飯田村の土地利用状況を記録した「信濃国伊那郡上飯田村畑山林地引絵図」に、現在の土地利用状況を対応させた『ハンディ版上飯田村絵図』の作成を行います。

2. 調査研究事業

資(史)料の現状記録調査、歴史的建造物調査、聞き取り調査(オーラルヒストリー)などを実施し、地域の歴史・文化を解明していきます。市民や研究者、大学等の研究機関との協働で行いながら、その成果を研究会・年報等で公表していきます。

① 研究成果の公表(刊行物)

『歴史研究所年報』11号

② 第11回飯田市地域史研究集会

開催時期:8月24日(土)~25日(日)

テーマ:「古代の交通と地域社会(仮)」

目的:東山道を中心とした古代の交通から、地域社会の特徴や結合のあり方を浮き彫りにします。

③ 歴史研究活動助成

市域を対象にした研究活動を助成することで人材の育成に努め、研究成果の蓄積を図り、その成果を地域に還元していきます。

④ 定例研究会

研究所のさまざまな研究活動を促進するため、研究会を公開で行います。

⑤ 史料調査を進めます。

⑥ 地域の文化遺産記録作成、調査研究事業・地域資源活用助成事業

歴史的建造物や歴史資料の調査研究と保存・利活用によって、歴史的な地域資源に対する住民意識を高めながら、まちづくりや世代交流の素材としても再認識できる環境を整えていきます。

3. 学習協働事業

様々な学びの機会を提供し、市民のみなさんが暮らしている地域を知り、地域を誇りに思う心を培い、人材を育む地域の力を高めていきます。併せて調査研究や教育を行う人材の育成を目指します。史料調査や古文書解説、研究などを協働して行います。



中学生職場体験学習「ふすまはがし」

① 地域史講座の開催

飯田・下伊那の歴史を題材とした最新の地域史研究の成果について発表します。

② 飯田アカデミアの開催

歴史学を中心とした外部講師による大学専門課程レベルの学術講座を開催します。

③ 飯田歴史ゼミナールの開催

市民が主体的に歴史を学んでいく場として、古代史ゼミ・近世史ゼミ・近現代史ゼミ・思想史ゼミ・満洲移民研究ゼミを開催します。

④ 学校教育や民間の

研究グループ等との連携

「職場体験学習」の受け入れや、高校の特別講義、学校・地域の団体・サークルを対象にした「出前講座」への出講、高校生から一般を対象にした「歴史教室」を開催します。

⑤ 市民研究員の研究活動を支援します。

4. アーカイブズ保存活用事業

地域で育まれてきた歴史・文化の記録は、市民のみなさんにとってかけがえのない貴重な財産であるという観点から、地域に残るアーカイブズ(歴史資料)を収集・保存・公開し、市民や研究者が史料を積極的に活用できる体制・環境を整えます。

① 旧役場文書や学校など公的機関の歴史資料の保存・公開・活用

市町村合併特例交付金による旧南信濃村役場文書の調査整理及び公開・活用に向けた所蔵庫整備を行います。

② 市役所の非現用文書の保存

③ 歴史資料の保存(デジタル化を含む)・継承の支援および公開

5. 地域に開かれた研究所をめざして

市民のみなさんからのご意見をふまえながら、第3期中期計画(平成25~29年度まで)に基づき、計画的な調査研究活動を展開していきます。

調査研究によって整理蓄積された収蔵史料や目録などの情報は積極的に公開を進め、関係図書は南信州図書館ネットワークでの検索も可能となり、市民のみなさんや研究者等の閲覧や利用に関するサービスを提供します。

さらに、ホームページの充実や広報などを通じ歴史研究所の諸活動を広く市民のみなさんに紹介していきます。

また、情報誌「歴研ニュース」を年6回発行します。

平成24年度研究助成報告会が開催されました

3月2日、上郷公民館にて3件の助成研究報告が行われました。その1つをご紹介します。

「飯田市長野原 金山神社考察」 長野原歴史研究会

長野原歴史研究会は、毎年テーマを設定して地区の歴史を精力的に調べています。

今年は、地区に鎮座する金山神社(金山さま)をテーマとして選び、境内の状況や祭典・宝物などを丹念に調査するとともに、南宮大社など関連する事項も調べて、神社の歴史を全体的に明らかにしました。長野原地区の最近の発展は著しく、新しい住民も増加しています。そのような中で、地区に古くからある神社の歴史を探访することは、これからの世代へ受け継ぐべき記録として、とても重要な意味があります。

長野原歴史研究会は、研究会の活動などをまとめた『知りたい伝えたい長野原』と題する冊子を3月に刊行しました。今後の研究会の展開が期待されます。



研究報告の様子



地域史講座「恒川遺跡と古代の伊那郡」
2012年9月15日



公開歴史講座「新しい世界史を求めて」
2013年1月19日

飯田アカデミア2013第68講座

開催日 2013年6月22日(土)・23日(日)

講師 青井 哲人さん
あおい あきひと
(明治大学理工学部建築学科 准教授)

場所 上郷公民館 205会議室

受講料 500円 (2日間共通資料代)

空間・社会と災害の近代史

22日(土) 13:30~17:00 ※30分休憩をはさみます。

その1~東京・広島・長崎

23日(日) 10:00~14:30 ※お昼休憩をはさみます。

その2~明治・昭和・平成の三陸津波

※聴講をご希望の方は、歴史研究所までお申し込みください。

定例研究会

開催日:2013年4月27日(土)

テーマ:「川路分村と上伊那

—南向村史料からの検討—

報告者:本島 和人(調査研究員)

時間:14:00~16:00

場所:歴史研究所 研修室

開催日:2013年5月25日(土)

テーマ:「諏方国の分置をめぐって」

報告者:北村 安裕(研究員)

時間:14:00~16:00

場所:歴史研究所 研修室

開催日:2013年6月15日(土)

テーマ:「天竜川と商品流通の展開」

報告者:伊坪 達郎(調査研究員)

時間:14:00~16:00

場所:歴史研究所 研修室



飯田市歴史研究所 編集・飯田市教育委員会 発行

飯田・上飯田の歴史 下

旧飯田町・上飯田町(村)地域の歴史を叙述した『飯田・上飯田の歴史』下巻を刊行いたします。

下巻は序章・終章と本編8つの章からなる10章立てです。序章では飯田・上飯田地区の近代・現代史に関する概要と課題について述べ、本編8章で明治維新から戦後までの歴史を取り上げ、終章では1980年代から現在までを概観し、本編の内容をまとめています。本編は全体の流れをつかむための節やコラムで構成されています。豊富な資料の写真や図版で、わかりやすく飯田・上飯田地域(橋北・橋南・羽場・丸山・東野)の歴史を学ぶことができる一冊となっております。



B5版・400頁・フルカラー
定価 3,000円(税別)

お問い合わせ 飯田市歴史研究所 TEL:0265-53-4670 FAX:0265-21-1173

未来につなぐ“扉” 竹ノ内 雅人(研究員)

このたび、5年間お世話になった研究所を退職することになりました。月並みにいうと、あっという間の5年間というのが正直なところ。5年前に研究所に赴任し、村や町の史料にたくさん目を通すことが出来ました。多くの魅力的な方々とふれあうことが出来ました。穏やかで美しい自然と人柄が、この地域の豊かな歴史に育まれたものであることを、膨大な史料を通して見ることが出来ました。研究者としてこの上ない幸せであり、本当にありがたいことでした。

地域の歴史を現在、未来の社会へどうつなげて、生きる力へ変えていけるか、歴史を研究する者も地域に住むひとびとも、ともに考えていかなければならない時にあるのではないかと考えています。とくにこの5年間、現代社会の激変、世代交代や災害による史料の散逸など、これまでの地域史を支えていたもろもろの社会の枠組みが大きく変動しているように感じます。

モノを消すことはいともたやすいのですが、残すという作業は大変な労力を要します。ですが文書などの歴史資料は、これまで過去に生きてきた人たちと現在、そして未来の人たちをつなぐ“扉”です。私の故郷のように、過去を知りたくてもほとんど史料が残っていない地域も数多くあるなか、先人の残された記録が、この地域に多く残されていることは大変すばらしいことだと思います。この“扉”を使って地域を知るということは、自分のことを知り、これからのことを考える手がかりのひとつです。これら地域の大事な“扉”を守り、磨き上げ、未来へつなぐお手伝いを、これからも続けていきたいと考えています。

改めて、お世話になった皆さま、本当にありがとうございました。そして、これからも宜しくお願いします。



歴研ゼミナール

近現代史ゼミ

■開催日
4月13日・27日
5月11日・25日

■時間
17:00～18:40

■担当
田中 調査研究員

古代史ゼミ

■開催日
4月11日・25日
5月9日・23日

■時間
19:00～20:40

■担当
北村 研究員

満洲移民研究ゼミ

■開催日
第23回:4月6日
第24回:5月11日

■時間
10:00～11:40

■担当
本島 調査研究員

近世史ゼミ

■開催日時
4月16日
5月21日
19:00～20:40

思想史ゼミ

■開催日時
4月3日・17日
5月1日・15日
19:00～20:40

開催場所:いずれも歴史研究所 研修室

ゼミ生募集中です!
お気軽にお問い合わせください

歴史研究所の催事スケジュール

2013年 4月

2013年 5月

日	月	日	内容	休所日
	月	1	思想史ゼミ	水
NL63発行	火	2		木
思想史ゼミ	水	3		金
	木	4		土
	金	5		日
満洲移民研究ゼミ	土	6		月
	日	7		火
	月	8		水
	火	9	古代史ゼミ	木
	水	10		金
古代史ゼミ	木	11	近現代史ゼミ/満洲移民研究ゼミ	土
	金	12		日
近現代史ゼミ	土	13		月
	日	14		火
	月	15	思想史ゼミ	水
近世史ゼミ	火	16		木
思想史ゼミ	水	17		金
	木	18		土
	金	19		日
	土	20		月
	日	21	近世史ゼミ	火
	月	22		水
	火	23	古代史ゼミ	木
	水	24		金
古代史ゼミ	木	25	定例研究会/近現代史ゼミ	土
	金	26		日
定例研究会/近現代史ゼミ	土	27		月
	日	28		火
	月	29		水
	火	30		木
		31		金

開所時間:午前9時～午後5時

休所日:日曜日・月曜日・祝日・12月29日～1月3日

休所日

開所日

歴研日誌

2月

- 1日… 歴研ニュース62号発行
- 2日… 地域史講座「曙の里講座『羽場の百姓と山林資源』(多和田調査研究員)(羽場公民館)
- 4日… 麻績村仏像銘文調査(北村研究員)
- 5日… 歴史に学び地域をたずねる会 座光寺地区史料整理(麻績史料館)
- 5日… 近世史ゼミ「清内路村借用証文」
- 6日… 思想史ゼミ「木戸幸一『極東国際軍事裁判供述書』から」
- 6日… 出前講座「にぎわった飯田の『祇園祭』(高森町歴史民俗資料館 松上主事)(橋南公民館)
- 7日… 出前講座「橋北の寺社と修験の活動」(竹ノ内研究員)(橋北公民館)
- 9日… 満洲移民研究ゼミ21回「宮下功『満洲紀行』をよむ⑩」
- 9日… 近現代史ゼミ「自主学习」
- 11日… 建築史ワークショップ「犬塚家一般公開」
- 13日… 出前講座 古文書学習会⑨(伊坪調査研究員)(阿智コミュニティ館)
- 14日… 上飯田 丸山農園史料調査(本島調査研究員・田中調査研究員)
- 14日… 古代史ゼミ「麻績村応保銘仏像について」
- 15日… 阿智村浪合 千葉家史料調査(伊坪調査研究員)
- 16日… 公開歴史講座②「新しい世界史を求めて～飯田・下伊那の『近代』を世界史から見つめる～」(小川幸司 飯田高等学校教諭)(上郷公民館)
- 19日… 歴史に学び地域をたずねる会 座光寺地区史料整理(麻績史料館)
- 19日… 久保田家資料調査(伊坪調査研究員)(飯田市美術博物館)
- 19日… 近世史ゼミ「新野村へ来た村送り状」
- 20日… 『飯田・上飯田の歴史』下巻史料写真撮影(伊坪調査研究員)(阿智村史料収蔵館)
- 20日… 思想史ゼミ「丸山真男『軍事支配者の精神形態』①」
- 21日… 出前講座「伝馬町・桜町の成立と移り変わり」(伊坪調査研究員)(橋北公民館)
- 23日… 上郷有線放送保存事業報告会「次世代に伝えたい記録 有線放送が残した昭和」(上郷公民館)
- 23日… 出前講座「岩手ノ郷分村」(齊藤客員研究員)(上郷公民館)
- 23日… 近現代史ゼミ「大正14年の南信新聞と胡桃澤日記⑦」
- 27日… 出前講座「伊原五郎兵衛と飯田線」(伊坪調査研究員)(上郷小学校)
- 27日… 山本久米 光明寺仏像調査(北村研究員)
- 28日… 古代史ゼミ「金石文からみる倭王権の展開①」

3月

- 1日… 第2回平和資料プロジェクト会議(本島調査研究員)(教育委員会)
- 2日… 平成24年度飯田市歴史研究所研究助成報告会(上郷公民館)
- 2日… 建築史ワークショップ「総括」
- 5日… 歴史に学び地域をたずねる会 座光寺地区史料整理(麻績史料館)
- 5日… 近世史ゼミ「『家の記』読解」
- 6日… 思想史ゼミ「丸山真男『軍事支配者の精神形態』②」
- 7日… 出前講座「藩の武家地管理と藩士のすまい」(竹ノ内研究員)(橋北公民館)
- 7日… 「伊那谷の自然と文化」に関する事業推進会議小委員会(北村研究員)(教育委員会)
- 8日… 南信濃基幹センター書架設置工事
- 9日… 出前講座「大平の近代(大平山の官有化をめぐって)」(清水市民研究員)(羽場公民館)
- 9日… 満洲移民研究ゼミ22回「宮下功『満洲紀行』をよむ(21)」
- 9日… 出前講座「歴史館セミナー「古代の信濃と交通」(北村研究員)(長野県立歴史館)
- 9日… 近現代史ゼミ「『飯田町のくらし第5集』編集」
- 13日… 出前講座「女性と子どもの暮らし」(齊藤客員研究員)(橋南公民館)
- 13日… 出前講座 古文書学習会⑩(伊坪調査研究員)(阿智コミュニティ館)
- 14日… 古代史ゼミ「寸白男、溶ける～今昔物語集にみる『坂向』～」
- 16日… 出前講座「新井家文書のデジタル化による可能性」(竹ノ内研究員)(鼎公民館)
- 16日… 第11回伊那谷地名研究会シンポジウム「天龍川と商品流通の展開」(伊坪調査研究員)(飯田市美術博物館)
- 16-17日 建築史ワークショップ「犬塚家一般公開」
- 18日… 第3回人と暮らしの伊那谷遺産プロジェクト選定委員会(本島調査研究員)(天竜川上流河川事務所)
- 19日… 「伊那谷の自然と文化」に関する事業推進会議(北村研究員・竹ノ内研究員・宮澤総務係長)(飯田市美術博物館)
- 19日… 近世史ゼミ「飯田元結商人の江戸商売」
- 21日… 出前講座「商品流通の発展と伝馬町・桜町」(伊坪調査研究員)(橋北公民館)
- 21日… 出前講座「水戸浪士の信濃通行」(竹ノ内研究員)(丸山公民館)
- 23日… 近現代史ゼミ「『飯田町のくらし第5集』編集」
- 28日… 古代史ゼミ「飛鳥池遺跡出土土簡と富本銭」